

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は 1 年とし本会の事務を分担する。

前 号 目 次 論 説

英語の学び方・教え方	太 田 信 雄 (1)
孔子の倫理哲学論 (6) — 道徳論を中心として —	浅 井 茂 紀 (21)
A Study on the Relation between Learners' Self-efficacy in English Learning and Improvement of their English Proficiency	SAKAI, Shien (35) NAKAMURA, Akira SAGARA, Yoichiro
学習者中心型の英語教育を取り入れた パラグラフィティング指導の実践	加 藤 澄 恵 (49)
高等学校における公教育の社会的責任 — 「学校から社会への移行」という視点から —	濱 野 和 人 (59)
韓国の「多文化社会」化についての一考察	李 姪 姪 (77)
Macro and Micro Roles of Scaffolding in Developing Autonomy and Improving English Language Proficiency Among Japanese Learners	CHOY, Wayne (105)